

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 20 日 作成

事務事業名		夏休み学童保育事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名 青木 洋治
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	子育て支援課	担当者名 榮 峰男
	基本事業	58	子育てと仕事の両立支援			所属班	子ども保育班	(内線) 2153
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市夏休み学童保育事業実施要綱	成果優先度評価結果 5 コスト削減優先度評価結果 9
	1	3	2	4	10569			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	夏期休業期間において、各小学校学童クラブに加入していない小学校低学年児童の預かりを立割老人憩の家を活用して行う。 平成18年度に行った子育て支援アンケートに実施要望が多かった。保護者からも電話での要望が寄せられた。 ・各小学校区で実施している学童クラブは、現在受入れが満杯の状態であり、夏休み期間だけの受入れは、不可能である。 またふれあい館でのキッズクラブも定員を大きくオーバーしており、受入れできない。 ・5年前に比べて各学童クラブでの預り児童が増えてきている。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①夏休み学童保育事業打合せ ②事業施行伺い ③事業委託契約伺い ④委託契約書締結 ⑤支出負担行為 ⑤実績報告書・請求書受付、審査 ⑥支出命令書
【主な予算費目】	委託料 500千円
【意見や要望】	・保護者(利害関係者)から学童クラブの預かり定員を増やしてほしいとの要望がある。 ・夏休み期間だけでも預けられる学童クラブを今後も続けてほしい。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・夏休み学童保育事業を委託により実施	・夏休み学童保育事業を委託により実施する。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	(単位)
→ ア 夏休み学童保育を開設した日数	日
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
学童クラブに行っていない小学校低学年の児童	→ ア 学童クラブに行っていない低学年の児童数 人
	→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
・仕事と子育ての両立支援を図る。 ・夏休みにおける児童の安全、健全育成を図る。	→ ア 夏休み学童保育を利用した児童数 人
	→ イ 夏休み学童保育を利用した延児童数 人
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 学童保育での夏休み期間中のみの預かりであるため、夏休み期間中のみの預かりを希望する児童に対して受け入れた割合として設定した。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア 日		29	30	30	29	30	30	30
	イ								
⑤ 対象指標	ア 人		1226	1383	1450	1450	1450	1450	1450
	イ								
⑥ 成果指標	ア 人		13	20	20	24	20	20	20
	イ 人		229	360	300	369	300	300	300
事業費	国庫支出金	千円	250	229	210	154	150	150	150
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	250	271	290	346	350	350	350
	(A) 事業費計	千円	500	500	500	500	500	500	500
人件費	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
	正規職員従事人数	人	4	3	3	3	3	3	3
	延べ業務時間	時間	90	40	40	40	40	40	40
	(B)人件費計	千円	357	160	159	159	159	159	159
トータルコスト(A)+(B)		千円	857	660	659	659	659	659	659

総トータルコスト	
全体計画	
～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

合志市

事務事業名	夏休み学童保育事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-----------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷	本年度の実施については、申込に対して断った経緯はなくすべてを受け入れることができた。
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷	これまでの実績からすると定員の20名を超える申込はないことから、平成22年度も希望者全員預かりができると考えており、目標達成の着込みである。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷	・また、夏休みだけでなく冬休み、春休みの預かりも要望があるため実施できるよう検討する。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷	・各小学校区で実施の学童クラブや保育園の小学校低学年受入れが可能となれば、可能である。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷	・児童の安全を確保するためには削減余地は無い。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷	・最低限の事務で行っているため、今以上の削減余地は無い。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷	・これまで西合志庁舎の議員控え室や議場で実施していたものを、平成20年度から立割区老人憩の家で実施したが、立地場所が住宅地区から離れているため、利便性に欠ける。
	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷	地域の理解やボランティアの育成等を行うことにより、地域の公民館等での実施ができれば、地域や団体に移行ができると考える。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成22年度については、各学童クラブとも施設基準を超えた入所となっており、保護者のパート等で通常学童クラブに預ける必要がない児童で、夏休みの長期休業期間中のみ預かることができないため、本事業は有効である。
反面、実施場所が住宅地域と離れており利便性に欠けるとの意見もあるため、実施場所の検討は必要である。
また、夏休み期間中だけでなく冬休みや春休みも実施してほしいとの声もあるため平成22年度から実施する計画としている。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

夏休みばかりでなく、冬休みや春休みの預かりもできるように計画する。

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			○
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

・本事業は夏休みだけの預かり事業であるため、冬休み、春休みの預かりの要望もある。そのため、地域の公民館等で地域のボランティアによる預かりが出来ないか検討する必要があるが、地域の理解と協力が得られるかが課題である。
また、各小学校学童クラブで、受け入れることができればこの事業は終了する。そのためには、学童クラブ室の整備を行う必要がある。